

県育成会便り とも に

第4号

社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会 令和3年10月1日発行



「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、10月になっても30度を超える真夏日が続いております。

1日の最低温度と最高温度の差を気象用語では「日較差^{ひかくさ}」と言うそうですが、秋は日較差が大きく、山間部や内陸部では朝と昼との温度差が15度以上も変わる日もあるとのこと。気温差で体調を崩さぬようご自愛ください。

新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置は、約半年ぶりの9月30日に解除されました。不要不急の県外移動や外出自粛の要請も解除され、余儀ない日常生活や閉塞感^{へいそく}も無くなりますが、コロナ以前と同じ生活^{くらし}に戻ることはないでしょう。第6波の心配もありますが、コロナと共に生きる覚悟が必要と思います。

新型コロナウイルスの対応が後手後手となり、説明不足も批判された菅内閣は、10月4日総辞職し、新たに岸田内閣が発足した。熊本4区選出の金子恭之代議士が総務大臣に就任されました。令和元年の育成会全国大会熊本大会には、来賓として出席されましたが、今後ともお世話になることと思います。育成会として祝意を申し上げます。

「人の話をよく聞くのが特技」と言われる岸田総理は、新任の副大臣、政務官の初会議で「国民の声を丁寧に聞き、政策に反映する。それぞれの分野で全力を尽くしてほしい。」と指示したと新聞報道。

第100代首相として、しがらみにとらわれず、確固たる信念を持ってリーダーシップを示してほしいと祈らずにはおれません。

(会長 川村 隼秋)

令和3年度知的障がい者相談員研修の概要

ありがとうございました
—ギフト商品購入のお礼—



今年度の「知的障がい者相談員研修」の概要をご紹介します。新型コロナの影響を考慮して、昨年に引き続き、12月、熊本県庁地下大会議室での開催となりました。

講演は、アンケートで希望が多かった「成年後見制度」について熊本家庭裁判所の方を講師にお招きする予定です。

相談員・生活協力員の皆様には、10月初旬からご案内しますので多くのご出席をお願いします。

- 日時 令和3年12月8日(水)
10:00~15:30(予定)
- 会場 県庁地下大会議室
- 内容 ①講演「成年後見制度の現状と課題」(仮題)
熊本家庭裁判所
- ②体験発表
- ③行政説明

7月には、ふれあい喫茶りんどうの運営資金に充てるため、ギフト商品購入のご協力をお願いしました。県庁関係課、特別支援学校、小中学校、地域育成会をはじめ多くの皆様からご購入をいただきました。心よりお礼申し上げます。

12月には、年末にちなんだ商品を準備してご紹介しますのでよろしくお願いいたします。



ビーフカレー
¥1,800(10食)

(通年販売しています)

〈県育成会事務局へ〉

<随 想>

熊本こすもす園 藤山 浩二

昭和63年4月、熊本県手をつなぐ育成会（当時は熊本県精神薄弱者育成会）に採用され、設立2年目の熊本こすもす園の事務職員として財務・給与・労務管理業務を担当し33年を経過した本年3月定年を迎え9月末まで再雇用で勤務しました。

当時の施設運営は、熊本県が設置した授産入所施設で県からの委託で運営されていました。措置費制度の中で施設運営費は県からの委託料で半期、四半期ごとに予算のとおり定額を収納されていて、人件費、事務費、事業費の構成比も決まっており、事業費も余裕があり、利用者の方のレクリエーション・旅行等も充実した内容であったように思います。また、授産作業は地場企業の景気も良く下請仕事量が多くて、夜遅くまで機械音が響いており、高い工賃を支払うことができました。

平成15年には社会福祉構造改革により措置費制度から支援費制度となり、施設と利用者との利用契約制度が導入されました。この制度移行にあたり利用契約書や運営規程の作成に労力を費やした年度末になりました。この制度の中で支援費は措置費に比べて減額され、人件費は縮小、将来の施設運営を同僚と悲観したこともありました。

県は厳しい財政事情を踏まえて公立の施設を民営化する動きになり、平成18年度から平成21年度まで指定管理者制度のなかで運営を委託するようになります。この間、平成22年度の民営化に向けた準備として県の担当者と密に協議し、法人側としては厳しい収支計画を作成することになりました。

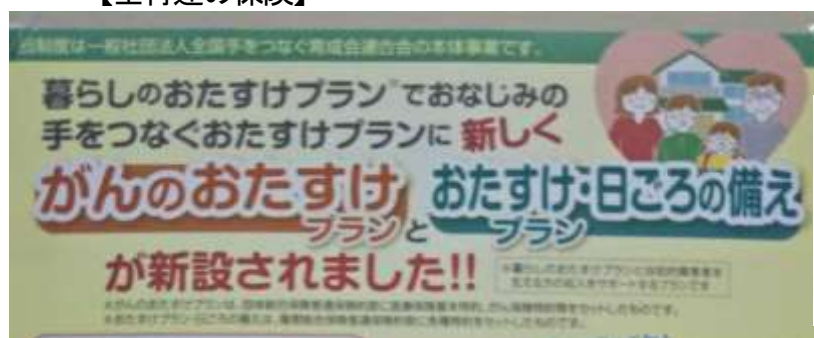
また、障害者自立支援法が施行された平成18年度より平成23年度にかけて本格的に施設は地域福祉へ移行していきます。グループホームの増設、通所施設、相談支援事業所を開設し、平成23年度には国庫補助等で就労継続支援A型事業所を整備し、障害者総合支援法の基で新体系へ移行し現在に至っています。障がい福祉サービス事業所が増えるとそれに付随する業務が煩雑になっていきます。何とか対応できたものと思っています。

一方、育成会活動においてはスタッフとして参加させていただいた全国大会熊本大会や災害に遭った下呂の全国大会は印象深い思い出となりました。また、各育成会大会に参加する度に親御さんの熱き想いを感じるばかりです。

永きにわたり川村会長はじめ役職員のご指導・ご支援によりどうか業務を遂行できましたこと深く感謝申し上げます。今後の県育成会、地域育成会、熊本こすもす園の益々のご発展を祈念いたします。



【全育連の保険】



手をつなぐ育成会の会員が加入できます。

チラシ・パンフレットは、県育成会事務局にあります。詳しいことが知りたい方はご連絡ください。

【全育連】 — 本の紹介 —

ひとりだち
(2021 改訂版)

ひとりだちを目指すための生活や仕事など世の中のしくみを知る手引きになる本

¥1,320(税込)

あたらしいほうりつの本
(改訂版)

¥1,320(税込)

在庫あります。
購入をご希望の方は、県育成会事務局までお知らせください。

熊本市手をつなぐ育成会定期大会 オンラインで開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響で県や地域育成会が大会を中止する中、熊本市手をつなぐ育成会は、9月2日（木）にオンラインによる定期大会を開催しました。

県民交流会館パレアの会議室に会場を設け、一部、対面式を取り入れ、会員には大会の様子をオンラインで配信しました。中央情勢報告では、全育連の又村あおい常務理事兼事務局長からZ o o mを使ったリアルタイムがありました。また、県育成会の川村会長には、これまでのご功績により「特別表彰」の授与がありました。

熊本市育成会の斬新な取組を今後の参考にさせていただきたいと思います。



全育連【成年後見制度に関するアンケート報告】（一部抜粋）

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター（2021年8月）

1 成年後見制度の利用について（回答：1386人）

- ①利用している（11%）
- ②利用していない（88%）
- ③回答無し（1%）

2 後見人等の種類

- ①親族後見（母親、父親、きょうだい他）（70%）
- ②専門職後見（弁護士、社会福祉士他）（14%）
- ③法人後見（7%）

3 利用の理由（複数回答可）

- ①相続など法的な手続きで必要に迫られた（28%）
- ②親の高齢化（健康不安）（24%）
- ③障害福祉サービスや介護保険の契約のため（21%）
- ④よい制度だと思ったから（19%）
- ⑤片親になったこと（15%）
- ⑥周囲のすすめで（13%）
- ⑦障害のある本人がひとりっ子（11%）
- ⑧両親ともに、いないから（8%）
- ⑨他になかったから仕方なく（3%）



4 問題点（複数回答）

- ①申し立てしたら取り下げられない
／後見利用を途中でやめられない（51%）
- ②財産管理だけで身上保護をしてもらえない（26%）
- ②福祉と連携していない（26%）
- ④本人のお金を本人ためにつかえない（19%）
- ⑤報酬が高い（18%）
- ⑥もっと会いに来て本人を知って欲しい（13%）
- ⑦本人の意思や嗜好をもっと大切にほしい（12%）
- ⑦関係者の話をしっかり聞いてほしい（12%）
- ⑨障害理解と福祉の知識がない（10%）

5 良かった点（複数回答）

- ①親なきあとの心配が解消した（42%）
- ②年金や通帳の管理をしてくれる（31%）
- ③子との関係を見直した（20%）
- ④本人の相談相手が増えた（12%）
- ⑤消費者被害が防止できた（11%）

6 利用していない理由（複数回答可）

- ①親が元気だから（64%）
- ②契約・年金管理が親でもできているから（46%）
- ③きょうだいがいるから（28%）
- ④制度について良くない評判を聞くから（22%）
- ⑤報酬が払えるか心配だから（18%）
- ⑥成年後見制度のことがわからない（16%）
- ⑦我が家に財産がないから利用しなくて良い（5%）
- ⑧本人が金銭管理できるから（2%）

※アンケート結果は全育連HPに掲載

【県育成会事務局より】

地域育成会活動調査と県への要望書のご協力ありがとうございました。令和3年度の重点事項に地域育成会の活性化と会員の増員があります。その一環として、各地域育成会に調査をお願いしました。調査内容をまとめ、組織財政委員会や事務局長会等で検討していく予定です。

また、要望書は、ご意見を要望事項としてまとめて10月中に県へ提出したいと考えています。去年は、新型コロナの影響のため文書で回答をいただきました。今年度は、意見交換会の実現を願っています。

【九育連より】九州大会大分大会について

九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会の役員会を4月21日（水）と5月20日（木）にオンラインで開催して、懸案事項であった「九育連大会大分県大会」について協議しました。

その結果、「大会誌」を発行して大分県大会の開催に替えることとなりました。

次年度（令和4年度）は鹿児島県となりますが開催方法は検討中です。

ふれあい喫茶「りんどう」からのお知らせ



【りんどう20周年記念感謝の集い企画紹介】

ふれあい喫茶りんどうは、平成13年11月にオープンして今年で20年目の節目となります。温かく支えていただいた皆様への感謝と、更なるご愛顧をお願いする機会として「感謝の集い」を開催する予定です。コロナ禍の中、限られた内容となりますが企画の概要を紹介します。

- ・期日 令和4年1月～2月(りんどう営業日:午後2時頃～)
- ・場所 ふれあい喫茶りんどう内
- ・参加者 ご案内予定のご来賓(県庁関係部・課様、潮谷元県知事様)
りんどう関係者(店員、旧店員等)
育成会関係者((案内)
- ・内容 主催者挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈、あゆみと営業風景紹介など

【新顔紹介】

りんどうの新しい店員を紹介します。
小水流 記世(こずる ふみよ)さんです。
8月24日からりんどうで働いています。職場の雰囲気慣れ、頑張ってください。

『久しぶりの仕事で少し緊張していますが、楽しく笑顔で頑張ります』



＜アビリンピック風景写真展示＞

「アビリンピック熊本大会2021」(6月26日・27日にポリテクセンター熊本で開催)の競技の様子を展示しています。各種目で金賞の選手は、東京で行われる全国大会(12/18～19)に出場します。展示は、10月中を予定しています。

11月からは特別支援学校の作品を展示予定です。

行事予定(10月～12月)

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・県行政施策への要望書提出(県知事・県教育長) ・2021絵手紙コンテスト審査 ・総務企画・組織財政委員会(28日:木) ・全国手をつなぐ育成会連合会全国大会(1月に延期)(オンライン)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・2021絵手紙コンテスト表彰 ・内部経理監査(前期) ・要望書に関する意見交換会(期日未定:～12月) ・地域育成会事務局長会議(予定) ・くまもと障がい者芸術展(16日～21日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回理事会(3日:金) ・知的障がい者相談員研修(8日:水) ・ハートウィーク表彰式(未定) ・臨時評議員会(12月開催)(17日:金) ・第41回全国アビリンピック大会(18日～19日:東京)

会員・賛助会員募集

会員(正会員・個人会員)、賛助会員を募集しています。加入を希望される方は、各地域育成会又は県育成会事務局へご連絡ください。

『手をつなぐ』購読のご案内

「手をつなぐ」は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発刊する機関誌です。
一部 400円
年間購読料 3,900円



社会福祉法人 熊本県手をつなぐ育成会

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3番7号 熊本県総合福祉センター2F

TEL/FAX 096-352-4149

メールアドレス kuma-ikusei@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosumosuen.com/ikuseikai/index.html> (熊本こすもす園HP内)

フェイスブック <https://www.facebook.com/kuma.ikusei/>